

令和元年度 事務事業総点検シート(1)  
[平成30年度事務事業]

一般会計		事務事業分類			簡易点検
事務事業名	骨粗しょう症予防検診			シート番号	A 一般事務事業 11-179
担当部署名	健康福祉	局	健康	部	健康医療推進 課 評価責任者(課長名) 河盛

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け
			施策	1	市民の命を守る健康・医療体制の強化	無
	2	事業開始年度	平成 6 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	健康増進法、堺市骨粗しょう症予防検診の実施に関する要綱			
	4	関連計画	健康さかい21			
5	事業実施の経緯	高齢者、特に女性においては閉経後に骨密度の低下が著しく、日常生活での躓き等による転倒で骨折が多く発生している。治療のため寝たきりになり予後の状況が著しく不良となることを防ぐために事前に検査し治療につなげる。当初は老人保健法に基づいての実施であったが、現在では健康増進法が根拠法となっている。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input checked="" type="checkbox"/> 出先機関 ( 保健センター ) <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ( )		
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	18歳以上の堺市民		
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	骨密度が低下すると些細なことで骨折することが多くなり、治療で寝たきりの状態になることが多い。現状の骨密度を適切に把握し健康指導・治療につなげることで市民の健康の保持増進を図る。		
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	各保健センターにおいて検診日を設定し、市民が申し込みを行い骨密度の測定を実施。検診結果に応じて保健師又は管理栄養士がその場で指導を行う。		
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( )			

Ⅲ. 投入量

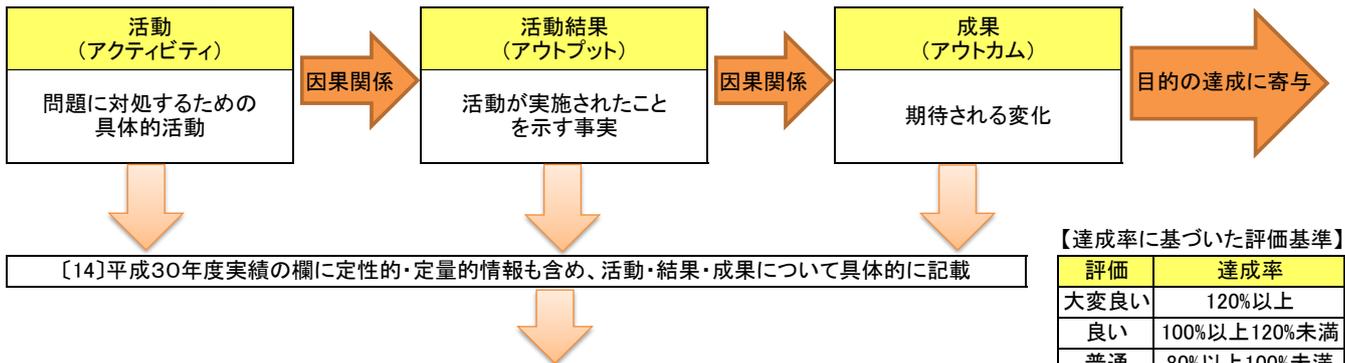
項目	単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
11 事業費 (a)	千円	9,587	7,712	407	1,011	
主な事業費内訳	消耗品費	千円	484	262	104	552
	備品購入費	千円	9,072	6,962		
	報償費ほか	千円	31	488	303	459
		千円				
	国・府支出金	千円	137	1,593	260	185
財源内訳	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円				
	市債	千円				
	その他( )	千円				
一般財源	千円	9,450	6,119	147	826	
12 人件費 (b)	千円	2,800	2,800	2,800	2,770	
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	12,387	10,512	3,207	3,781	

## 令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	骨粗しょう症予防検診	シート番号	11-179
-------	------------	-------	--------

### ≪Ⅳ. 評価(測定・分析)≫

#### ロジックモデルの考え方



[14]平成30年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載

[15]または[16]に定量的な指標、または定性的な目標を記載

#### 【達成率に基づいた評価基準】

評価	達成率
大変良い	120%以上
良い	100%以上120%未満
普通	80%以上100%未満
少し悪い	60%以上80%未満
悪い	60%未満

#### 事業の活動内容や成果

		平成30年度実績					
活動実績と成果	14	<p>各保健センターにおいて2か月に1度(南区のみ年間9回)の検診日を設定し、18歳以上の市民を対象に骨密度の測定会を実施。(要予約)また、同時に健康相談を行い、保健師又は管理栄養士などの専門職が生活習慣などの指導を行った。実施日を周知するため、広報さかい6月号と同時に送付する各区保健事業案内に掲載した。</p>					
	15	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
		受診者数	人	目標値	-	-	-
				実績値	946	967	966
				達成率	-	-	-
	評価	-	-	-	-		
	算出方法・設定根拠など		延べ人数				
	16	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
			目標値				
			実績値				
達成率							
評価							
算出方法・設定根拠など							

#### 業績の分析

17	目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
	<p>検診体制を整備しているため、希望する者全員の受診が達成できている。平成27年度以前は、骨密度測定用の機器は、エックス線を利用して測定するものであるため、使用に際しては医師あるいは診療エックス線技師の資格を持った者が実施する必要があったが、平成28年度から平成29年度にかけて、特定の資格を有せずとも操作できる機器を導入した。</p>

#### 【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。